

2021-2022 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

6

2022
June



「不忘感謝先人偉業」

北の大地と生きる



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー第2510地区 2021-2022年度 ガバナー 大日向 豊吉

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」



国際ロータリー第2510地区 2021-2022年度地区目標

「世界に奉仕を 地域には感謝を」
「不忘感謝先人偉業」

- ① RI会長テーマの理解と促進
- ② リーダー育成の観点からRLIへの参加を促す
- ③ ロータリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きにおいてインターネットの活用を推進する
- ④ ロータリー財団、ポリオ根絶への理解を求め会員の積極的な理解を求める
- ⑤ ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力を求める
- ⑥ 会員増強、Each One, Bring Oneの推進と「ロータリー奉仕デー」の実施
- ⑦ クラブにおける戦略計画の立案(未来ビジョンの策定)と目標の設定を推奨する

CONTENTS

●塵も積もれば…小さな親切 大きな幸福 …………… 1	●ハイライトよねやま …………… 6
●PHS認証式開催される …………… 2	●ロータリーコーディネーターNEWS …………… 8
●ロータリー米山記念奨学生終了式及びカウンセラー感謝状授与式 …… 3	●第1地域RRFC便り …………… 10
●地区研修・協議会報告 …………… 4	●地区カレンダー …………… 19
●新会員のご紹介/訃報/ロータリー財団寄付 …………… 5	●会員数・例会数 …………… 20



塵も積もれば・・・ 小さな親切 大きな幸福

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度ガバナー

大日向 豊吉 (函館五稜郭RC)

ときは清々しい風の吹き抜ける初夏の候。
各クラブにおかれましては例会の休会が多く見られ、会員間の親睦活動も儘ならず、退会をする者も多くあると聞きおよんでおります。
今年度のシェカール・メータRI会長は「会員一人が一人を増やす」を大きな目標としております。
第2510地区におきましては、期首会員数に比して、厳しい中では在りますが2月末現在会員数は18名が増員されております。

公式訪問の折には

- 1, 地域は過疎化が進みクラブに入会を勧める若者がいない
- 2, 高齢者施設を増やしたくとも介護をする若者(分母)より介護を受ける高齢者の数(分子)が大きく、高齢者施設が建設できない
- 3, クラブの魅力を高める必要性

等々が挙げられていました。

過疎化の解消・地域に若者をUターンさせる・地域の魅力を高める。

これらにつきましては、ロータリークラブが音頭を取り、進めることは可能であると考えられますが、行政も巻き込み地域が一丸となって取り組むべきことがベターだと思います。

クラブの魅力を高めることについては公式訪問の折、お話ししてきたことであります。

しかし、例会の休会が多くなかなか実践はされたいないように思います。

ただ例会の休会が多くともロータリアンとして、魅力を高める方法が一つあります。

アーサーF. シェルドンの『最もよく奉仕する者 最も多く報いられる』の言葉であります。

ご案内のとおりロータリーを始めたのは、ポール・ハリスです。

ロータリーの基礎にサービスを据えたのはアーサーF・シェルドンです。

He profits most whoserves best

ビジネスでもサービスの心がけは、シェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して「繁栄の道」になるのです。

シェルドンは自分の事しか考えない行為、サービスを考えない行為『それは一時的には良くても、破滅への道だ』と断言しております。

ここでシェルドンの言う【幸福の三角形】について述べてみたいと思います。

三角形の左辺は愛情であり、友情です。

サービスの心、思いやりの心は、同僚からの愛情、仲間からの愛情に繋がります。

サービスの心を別な角度から言うと、他者への敬意、他者を大事にする心です。

三角形の右辺は良心なのです。

これは自分自身を尊敬する事(自尊心)と言っても良いでしょう。

相手を思いやり、相手のためになる行為をする。

そういう人は自分が良い事をしていると気づき、良心が満足する事でしょう。

他の人からの尊敬も得られます。

底辺にはお金が来ます。

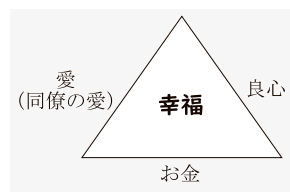
これは物質的な繁栄です。

サービスの精神は、長い目で見るなら事業を繁栄させ、収入を増やす事なのです。

それがロータリーの考え方であり、【幸福の三角形】なのであります。

この三辺が無いと幸せに出来ない。

三角形の基礎はサービスによって築かれるのです。



サービスの精神は勿論世の為になります。ロータリアンは善意の人たちですから、世の為にならないようでは困るわけです。

前述を致しましたが、サービスの実践は同時に仲間の、友人の愛情を得る事ともなり、自分は良いことをしているという良心の満足にも繋がります。

また他者の信頼、尊敬も得る事が出来ます。

事業の上ではその繁栄、物質的な幸せが得られるというのがシェルドンの考えです。

我が国ではサービスを『奉仕』と訳されておりますが、意味が違います。

サービスの精神は、相手の事を考え・相手のためになるような行為・また相手を思いやる行動です。

『奉仕』、つまり、仕え奉る事とは概念が同じではありません。

アーサーF. シェルドンの『最もよく奉仕する者 最も多く報いられる』。

誠に奥が深いですね。

「四つのテスト」をベースに、破産しかけていた会社を見事再生させた話にも相通じるものがありますね。

アーチC. クランフは、親睦だけではなく『世界中で善いことをしよう』と言いました。

ロータリアンは救世主の集まり?

私は公式訪問時に、69クラブ全てにPHSについてお願いをして参りました。

ロータリアンは世界に120万人おります。

是非、自分の職業や能力を更に錬磨し・向上に努め、友人・同僚からの「相互扶助」も賜り、自らの職業を国内に留まらず、広く世の中に貢献して、ビジネスの隆盛を築いて欲しいとの思いからであります。

PHSは年間1,000ドルの継続事業です。しかし、利益が上がらなければ云々と言うロータリアンのいる事も事実です。

柔道の教えに「精力善用 自他共栄」とあります。

サービス精神の思いやりはロータリアンとして相応しい人間性が養われる事と思います。

一人一人の貢献度は小さいかも知れませんが、小さな積み重ねはやがて山を築きます。

正直、令和4年3月末現在、第2510地区のPHSは67名しかおりません。

その中、当年度加入者は16名でございます。

申し込みを忘れている方もおると思います。

今後とも、ロータリー財団、特にPHSにご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

皆様のご健勝ご多幸を心から祈念申し上げます。

PHS認証式開催される。



第1地域ロータリー財団地域コーディネーター

羽部 大仁

【前夜祭が賑やかに開催された】

2022年4月23日(土)、札幌市の天気は朝から晴天で、この日桜の開花が札幌気象台から発表された。会場の準備には余念がない。大日向ガバナーから歓迎の挨拶に始まり、ご来賓・辰野克彦国際ロータリー理事からご挨拶と乾杯の発声で前夜祭は賑やかに開会となる。このPHS認証式の前夜祭飲みにご参加願った佐藤芳郎RI理事エレクトにも素晴らしいご挨拶を戴き感動を憶えた。

2019年7月の年度が開始される前のことである。中谷研一E/MGAと「日本では、大口寄付や冠名基金が難しい！効果的なファンでレージングはPHS（ポール・ハリス・ソサエティー）に入会される会員を増やすことだ。それには認証書を盛大に行うことに秘訣がある」と二人の意見が合意しました。その合意を受けて2020年4月と2021年4月に2年間PHSの認証書を企画していたのだが、皆様ご承知のコロナウイルス感染拡大を受けて止む無く中止して臨んだ、3年目の今日100名を超えるご登録を得て開催することの喜びは二人で顔を見合わせるとその度に目頭が熱くなり困った。福井敬悟(PDG) PHS実行委員長の心温まるご挨拶にも涙が溢れました。明日の認証式が本番だと思えないくらい感動の前夜祭となった。



【認証式が盛大に挙行された】

2022年4月24日(日)晴天、札幌プレミアホテルTSUBAKI

地下1階カメラホールに於いて、100名近いご登録とご参加を得て10時45分から隣の写真室で一同集合写真。皆な笑顔である。そして本会場に移り11時オープニングだ。

この日、辰野RI理事は別の所用がありご挨拶後第1部終了後ご退席になったが、会場から盛大な拍手でお見送りさせて戴いた。又第1部では三木明TRF管理委員からビデオメッセージをお届け願ひまして会場の大スクリーンでご挨拶を願った。三木先生本当に有難うございました。

和やかなうちに午餐会の開会のご挨拶を第1地域EPNCの高柳育行PDGから、このPHS認証式のご登録料にはポリオプラスへの3千円の寄付が含まれていることに参加者に、関係者としてお礼のご挨拶を頂戴した。最近パキスタンで野生株のポリオが1名確認されたことなど最新情報の報告も頂いた。そして愈々高柳PDGから乾杯のご発声で宴会のスタートである。楽しい時間は、瞬きの間に閉会の時間を迎えた。閉会の辞を私から申し上げた。万感胸に詰まるものがありご来賓の皆様、各地域のコーディネーター・アドバイザーの皆様にお礼を申し上げ、遠近各地区からご参加下された皆様を中心に御礼申し上げた。最後にロータリーは素晴らしい人と人との出会いを結んでくれる組織だと痛感した。このような素晴らしい人と人との繋がるロータリーに増強もファンド・レージングも自然と達成されるに違いない。ロータリーは素晴らしい人間を作る場所だと再確認できた。皆様に貴重な機会を賜ったことを深く御礼申し上げたい。

(PHS認証式発起人 羽部大仁)



2021学年度

ロータリー米山記念奨学生終了式及び カウンセラー感謝状授与式

2022～23年度地区米山記念奨学・学友委員会 委員長 **入井 浩樹** (滝川 RC)

2022年3月27日にて札幌京王プラザホテル様にてCOVID-19の感染に十分に配慮し2021学年度ロータリー米山記念奨学生終了式及び、カウンセラー感謝状授与が行われました。

ご来賓に公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事の嵯峨義輝パストガバナー、同法人評議員の安孫子建雄パストガバナー、RID2510地区大日向豊吉ガバナー、石丸修太郎ガバナーエレクト、松浦光紀ガバナーノミニ、北海道米山学友会何暁光会長をお迎えし執り行いました。

米山記念奨学生終了奨学生は総勢14名のうち8名の参加、米山奨学生世話クラブカウンセラー様も8名の参加、RID2510地区米山記念奨学会委員会から14名、総勢36名のご出席を頂きました。

最初に佐藤竜也地区米山記念奨学委員会委員長より開会宣言がなされ、その後ご来賓を代表し嵯峨理事と大日向ガバナーからご挨拶を頂きました。

嵯峨理事のご挨拶には終了奨学生に向けて世界平和の先駆者になって頂きたいというご挨拶と大日向ガバナーからは日本と母国の架け橋になって頂き世界平和を実現してほしいというご挨拶が有りました。

その後、大日向ガバナーから終了奨学生へ終了証が授与され、終了奨学生からは感謝の挨拶がなされました。そして安孫子評議員から世話クラブカウンセラー様へ感謝状の授与がなされカウンセラー様から奨学生との交流の思い出を語って頂き、カウンセラー様の中には感極まり涙ぐむ方もいらっしゃいました。

安孫子評議員のご挨拶で終了奨学生に対して「どんな時でもロータリーと日本を忘れずにいてほしい、そして常に世界平和を願っていてほしい」というお話とカウンセラー様への労いのご挨拶が御座いました。

終了証授与閉会のご挨拶は石丸ガバナーエレクトから、奨学生が終了してからも世話クラブとの交流を続けて頂き更にロータリーを学んで下さいという激励が御座いました。

その後写真撮影がなされ歓送会が開催されました。

歓送会では松浦光紀ガバナーノミニが終了奨学生へロータリーでの学びは必ず世界平和に繋がるのでこの学びは忘れないで下さいと挨拶と祝杯がなされました。

閉会のご挨拶には北海道学友会の何(カ)会長から、米山奨学生終了後の米山学友での活動の紹介がなされ乾杯で歓送会を閉めました。



地区研修・協議会報告

次期地区代表幹事 **河川 義憲**



第2510地区、令和4年度地区研修・協議会が4月24日(日)、京王プラザホテルに於いて開催されました。会員の安全を考慮し、会長部門と幹事部門はホテル内でのリアル会議、他の5部門はZOOMでの参加となりました。コ・ホス



トクラブ札幌西北RCの吉田聡子会員の司会進行で進み、石丸ガバナーエレクト(GE)の点鐘後、ホストクラブ札幌西RCの最長老である石黒直文実行委員長からユニークな開会の辞がありました。その後雨貝尚子ソングリーダー(札幌西RC)と共に「国歌」「奉仕の理想」斉唱に続き、下村卓也札幌西RC会長の歓迎の言葉、大日向ガバナーからの挨拶を頂戴し、スタートとなりました。石丸GEから、「コロナの中、通常開催は困難であったが、ガバナー補佐、各クラブの会長、幹事さんが会場参加でできた事、本日のため準備に労力を費やした、札幌西RC、札幌西北RCの皆さん、また分科会のため多大の準備をされてきた各委員会の皆様に対する謝辞」がありました。ジェニファー E. ジョーンズRI会長の挨拶を全員で拝聴後、今年のRIテーマ「Imagine Rotary」に対し、「皆で何ができるか考え、今できることをやりましょう」という石丸GEの解説がありました。その後GE自身の地区テーマ「ロータリーに想いを馳せる；明日のロータリーに夢を込めて」の4つの目標に対する思いを、特に青少年に対する支援を訴え、「ローターで楽しくやりがいのある活動を、プラス思考で」と結びました。嵯峨義輝次期地区研修リーダー(PG)からは「1年ロータリーを動かしてゆく指導層である参加者の皆さま」へ、「社会的弱者に寄り添い世界中で奉仕活動しているロータリークラブに火を灯せ」とエールがあり、小山司次期会員増強委員長(PG)から困難な状況の中の会員増強というテーマに対し、深い考察を戴きました。つづいて福井敬悟ロータリーコーディネーター補佐(PG)より、当地区を含む日本第1地域のRI理事、R財団管理委員、地域コーディネーターの方々の紹介がありました。最後に、期待される12名の次期ガバナー補佐からのご挨拶があり、午前の部が終了しました。

午後の部は分科会で、2時間半に及ぶ7部門の同時並行セッションがありました。会長部門、幹事部門での重要事項の説明、連絡に続き、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の各部門での討論の報告が各リーダーからあり、アドバイザーとなった各PGからの所感で分科会は終了



しました。その後川村次期地区幹事から10月の地区大会などの案内があり、大日向ガバナーから「あせらず自分のクラブにあったものをまず一つ、ガバナー補佐や地区を利用して実行してみても」との所感をいただきました。石丸GEからは本日の謝辞と、「RCは人の繋がりが楽しく、少しでも輪を大きくできれば今後の糧となる」と示唆をいただきました。最後に菊田実行副委員長(札幌西北RC)が閉会の辞を述べ終了となりました。長時間に及び大変お疲れ様でした。

新会員のご紹介

(敬称略)



留萌RC
谷口 善彦
令和4年4月1日入会
電気流通



千歳RC
大西 正幸
令和4年4月14日入会
電力事業



千歳RC
北村 茂樹
令和4年4月14日入会
ビール製造



室蘭北RC
千葉 大和
令和4年4月5日入会
プラント配管

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに心からご冥福をお祈り致します



長沼RC
池田 徳重 会員 2022年5月14日逝去(享年73歳)

【ロータリ歴】 2004年2月9日入会、
2015-16年度会長、2016-17年度第7グループIM実行委員長
2021-22年度クラブ創立30周年実行委員長

【表彰関係】 ポール・ハリス・フェロー、米山功労者

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC	赤山 登	会員	(1回)	4月22日
岩見沢RC	芥川 勝行	会員	(1回)	4月22日
岩見沢RC	小林 弘明	会員	(5回)	4月22日
岩見沢RC	中塚 力	会員	(5回)	4月22日
当別RC	泉亭 俊徳	会員	(3回)	4月27日
札幌北RC	谷口 昭博	会員	(1回)	4月15日
札幌北RC	吉井 千博	会員	(1回)	4月15日
札幌西北RC	海野 均	会員	(1回)	4月27日
札幌手稲RC	和田 敬友	会員	(1回)	4月8日
札幌手稲RC	平川 香織	会員	(3回)	4月8日
小樽RC	小野 晃裕	会員	(1回)	4月28日
小樽RC	佐藤 慶一	会員	(1回)	4月28日
小樽RC	飴谷 佳一	会員	(2回)	4月28日
小樽RC	能島 正朋	会員	(3回)	4月28日
小樽RC	坂田 道昭	会員	(4回)	4月28日
静内RC	山田 一孝	会員	(3回)	4月27日
伊達RC	鈴木 啓一	会員	(2回)	4月13日
室蘭東RC	松永 英樹	会員	(1回)	4月26日
室蘭東RC	芝垣 美男	会員	(2回)	4月26日
函館RC	佐藤 友康	会員	(1回)	4月8日
函館RC	伊藤 正明	会員	(2回)	4月8日
函館RC	成澤 茂	会員	(2回)	4月8日
函館RC	中村 壮一	会員	(4回)	4月8日
函館RC	久保 俊幸	会員	(5回)	4月8日
函館RC	竹田 公一	会員	(6回)	4月8日
函館RC	富田 恒一	会員	(6回)	4月8日

函館亀田RC	前田 健二	会員	(1回)	4月18日
函館亀田RC	月館 正男	会員	(1回)	4月18日
函館五稜郭RC	小林 大輔	会員	(3回)	4月18日
函館東RC	安保裕一郎	会員	(1回)	4月22日
函館北RC	藤田 正男	会員	(1回)	4月20日

ポール・ハリス・フェロー

栗山RC	篠田 勝	会員		4月11日
小樽RC	海老名敏男	会員		4月28日
小樽RC	浜田 健嗣	会員		4月28日
小樽RC	花和 嘉貴	会員		4月28日
小樽RC	橋本 斉	会員		4月28日
小樽RC	井上 晃	会員		4月28日
小樽RC	石井 伸和	会員		4月28日
小樽RC	宮本 孝雄	会員		4月28日
小樽RC	畠村 公宏	会員		4月28日
小樽RC	米山 幸宏	会員		4月28日
恵庭RC	大場 優光	会員		4月28日
伊達RC	根子 洋一	会員		4月13日
伊達RC	佐藤 一英	会員		4月13日
函館RC	松浦 勝人	会員		4月8日
函館亀田RC	秋田 宰	会員		4月18日
函館亀田RC	石塚 徹	会員		4月18日
函館亀田RC	富樫 孝樹	会員		4月18日
森RC	鈴木 正幸	会員		4月8日
森RC	谷内 尚明	会員		4月8日
函館北RC	斎藤 秀司	会員		4月20日



1. 米山梅吉翁の合同墓参

関東にある4学友会会長と学友が4月23日、米山梅吉翁の墓参のため、横浜市鶴見区の総持寺を訪れました。

この合同墓参は2018年に第2580地区（東京都・沖縄県）と第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）が始めたもので、その後、コロナ禍のため中断。今年再開するにあたって近隣地区にも声を掛け、上記2学友会の会長・学友・奨学生に加えて、第2750地区（東京都）・第2780地区（横浜市・川崎市を除く神奈川県）の各学友会会長、第2590地区米山委員2人の計15人が参加し、墓所の清掃と供花、總持寺内の見学をしました。

今回は初めて4学友会の会長が揃って梅吉翁の墓参をしたということで、

それぞれがこの奨学事業の始まりに思いをはせ、今後の学友会を活発にしたいという気持ちを新たにしました。



2. 寄付金速報 —ほぼ前年同期比並みで推移—

4月までの寄付金は前年同期と比べて0.3%減（普通寄付金：0.9%減、特別寄付金：0.1%増）、約300万円の減少となりました。ほぼ前年度と同様の水準で推移しています。今年度もあと残り1カ月半です。なかなかコロナ禍以前のよう

に寄付が大きく増額に転じることはありませんが、クラブの例会や地区大会も開催され始め、いったん止まったロータリー活動も再稼働しつつあります。引き続き今後ともご支援賜りますようお願いいたします。

3. 博士号取得状況

2021-22学年度に博士号を取得した奨学生・学友は60人、これまでの累計は3,915人となりました（5月9日現在）。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計を贈呈しています。裏ぶたに氏名を刻印した世界に一つだけの腕時計です。クラブ例会で贈呈することにより、学友との交流再開のきっかけとなるかもしれません。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。

- ・ 奨学期間終了後の取得でも対象です
- ・ お届け先は、原則として世話クラブです
- ・ 完成まで約2週間かかります

申請方法

「学位記の写真」もしくは「学位取得証明書」と、当会書式「博士号取得報告書」の2点を世話クラブから米山奨学会へFAXかメールで送信。
(FAX:03-3578-8281 / email: alumni@rotary-yoneyama.or.jp)

時計が
リニュー
ーアル



文字盤の裏に氏名を刻印

4. 米山がオンラインでつなぐ日本とミャンマー

東京米山ロータリーEクラブ2750の活動の一つに「田中作次奨学金」があります。これは、元国際ロータリー会長である田中作次氏の冠名奨学金で、ミャンマーの若者へ教育支援をするもの。毎年行われる現地での面接選考は、ミャンマー米山学友会が協力しています。

4月17日、今年の田中作次奨学生たちとミャンマー米山学友会有志、そして日本のロータリアンや現役米山奨学生が交流する「ミンガラ奉仕デー田中作次奨学生日本語CAFÉ」がZoomで開催され、総勢50人が参加しました。進行は日本語とビルマ語で行い、日本語運用レベル別に5グループに分かれ、「日本語を学ぶ理由」などのテーマを決めて交流しました。主催した東京米山ロータリーEクラブ2750の肖慧潔会長（東京白金RC）は、「ミャンマー在住の田中作次奨学生にとって、奨学金という金銭的支援だけでなく、実際に日本人や日本で学ぶ留学生と交流することが何よりも大



きな励みになったと思います。私たちのクラブには外国語学習・指導経験のある会員が多く、会員の職業奉仕にもつながりました」と、活動の意義を述べました。

今回の日本語CAFÉは今後も継続的に開催したいとしており、併せて同クラブで開発中の「非漢字圏の日本語学習者のための生活支援漢字アプリ」によって、一人でも多くの日本語学習者への支援を進めていくとのことでした。

5. 大牟田から巣立った日台の懸け橋

1998年から1年間、大牟田RCの米山奨学生だった林郁慧さんは現在、台北駐日経済文化代表処（台湾の日本における外交の窓口機関）で政務部次長を務めています。当時はカウンセラーの圓佛洋右氏と家族ぐるみで交流し、地元のお祭りやイベントに連れ出してもらったのが良い思い出と話します。また、優しく温かい大牟田RCの方々を迎えられ、異国にひとりで行って来た寂しさも乗り越えることができたそうです。



カウンセラーの圓佛洋右氏（右）と林郁慧さん

<林郁慧さんより>

大牟田RCでは、さまざまな分野の最前線で活躍されている方々から貴重なお話を聞くことで、特に社会人としての振る舞いや話し方を学ぶことができました。ここでの経験は人生に対する理解や考え方などをとても豊かにしてくれました。

九州大学卒業後、台湾外交部の試験に合格し、台湾と日本の懸け橋になるという当時の目標を叶えました。私はロータリアンに感謝するとともに、今後も米山学友として社会に恩返しして、両国の友好関係をさらに一層促進できるように努力をしていきます。

台湾と日本の懸け橋を目指す米山の後輩たちには、ロータリーの世界で大切にされている「最もよく奉仕する者は、最も多く報いられる」という言葉を胸に頑張ってもらいたいです。米山奨学生や学友の皆さん、世界平和のために各分野で一緒に努力していきましょう！

Rotary



Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2022年6月号 No.1

発行：Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

ロータリーの魅力とは

私たちがロータリーに入会し、会員であり続けるのは、ロータリーに対して何らかの魅力を感じているからでしょう。ロータリーに魅力がなければ、入会もしませんし、会員であり続けることはできません。その魅力をどうとらえるかはロータリアン一人ひとりにより異なるかもしれません。

私はロータリーの魅力について問い直すにあたり、あらためてロータリーの本質を正しく再認識することが欠かせないと考えます。ロータリーのCore Values（中核的価値観）にこそロータリーの本質があると理解します。

1. Service：人のために良心をもって行う行為・行動すべてであり、ロータリーでは社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕・クラブ奉仕と分類されます。ロータリーならではの奉仕の理想や超私の奉仕をさせていただくことに魅力を感じます。
2. Fellowship：奉仕の理念に集う私たちロータリアンはいわば同志であり、志を同じくする仲間です。その仲間を大切に思う心を育て、ともにロータリーの目的に向かう原動力となるロータリーならではの親睦に魅力を感じます。
3. Leadership：世界中の多種多様なリーダーの集まりの中で、相互に啓発されて、そのリーダーシップを学び磨きあうことのできる例会や研修などの多種多様なプログラムを備えるロータリーのメンバーであることに魅力を感じます。
4. Integrity：人としての在り方としての大切な芯となる、誠実・真摯・信念・品位・法令順守など高潔性に大きな価値を置き、自分磨きができるロータリアンとしての自覚と誇りが持つことに対して魅力を感じます。
5. Diversity：国・民族・宗教・言語・人種・性別・職業・年齢などの多様性を受け入れて認め合うだけでなく、Equity（公平）Inclusion（包摂性）の概念をとりいれて、誰一人として取り残すことのない世界をともに目指すことに魅力を感じます。

これら5つの中核的価値観をもとに、「私たちロータリアンはお互いに手を取り合って行動に移すことで、国際社会や地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生み出す世界を目指す」（ロータリーのビジョン声明）に対して大きな魅力を感じます。ロータリーはまさに、人としてのより良き生き方を学び成長することができる道場であり、世界平和をめざす実践哲学でもあります。このようなロータリーとの出会いに感謝してあらためてロータリーを学び、実践し、発信し、ロータリーを楽しみたいと思います。今まさに、ロータリーの魅力を再認識したうえで、時代の変化に適応した会員維持と会員増強が望まれます。

第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 中川 基成（あすかRC）

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2022年6月号 No. 2
NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

2021-22年度もあと1カ月

2020年1月15日に日本で最初のCOVID-19感染者が確認されて2年5ヶ月が過ぎましたが、未だ多くの感染者が確認されています。この間、ロータリー活動も制限され、例会やロータリーの会合の多くが、ZOOMを使ったオンラインでの会合やオンラインとインパースンを合わせたハイブリッド会合となりました。

そして、北京冬季オリンピックが閉会した4日後の2月24日、ロシアがウクライナへ侵攻するという予想もしない出来事が起こりました。ロータリーの究極の目的が「世界平和」であることを考えると、ウクライナに一日も早い平和が訪れることを願ってやみません。国際ロータリーは、早速2月25日にウクライナ情勢に対する声明を発出し、ロータリー財団はウクライナから避難する人々への人道支援のためにロータリー災害救援基金を募り人道的救援活動に活用していきます。そして、その額は1,450万ドル（5月12日更新）となっています。ロータリアンの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、2021-22年度もあと残すところわずかとなりました。この時期になると、年度初期に決めたロータリー財団の目標の達成の可否が気になります。特に「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」は毎年地区ロータリー財団委員長を悩ませる懸案事項です。幸い去年は皆様のご努力で日本の第1地域から第3地域のすべてのクラブが寄付をしていただき「年次基金ゼロクラブゼロ」を達成しました。ご存知のように年次基金への寄付は3年後の地区の地区補助金の財源となる貴重な資金です。この財源を利用して各地区の多くのクラブがプロジェクトを企画立案し、戦略計画に基づいてクラブの活性化を図ることが出来ます。皆様がロータリー財団の年度目標について、今一度ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

毎年日本のロータリー財団の目標はRRFCが策定することになっています。毎年国際ロータリー日本事務局財団室からの財団室NEWS4月号に掲載されます。今年も次年度R財団目標が掲載されました。年次基金への寄付額目標は150ドル/ロータリアンですが、実はこの財団目標がクラブのレベルまで周知されていないことが、往々にしてあるのです。地区財団委員長の皆様には是非クラブレベルでの周知にご協力をお願いしたいと思います。

次年度はこれを踏まえ、地区財団委員長とロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）、ロータリー財団地域コーディネーター補佐（ARRFC）との合同会議を企画したいと思います。

第3地域の11地区では4月現在昨年同月比で8地区の寄付が昨年を上回りました。多くのご理解をいただき、コロナ禍の中にも関わらずご支援いただいたことに感謝申し上げ更なるご理解をお願いいたします。

第3地域 RRFC 永田 壮一（熊本城東RC）

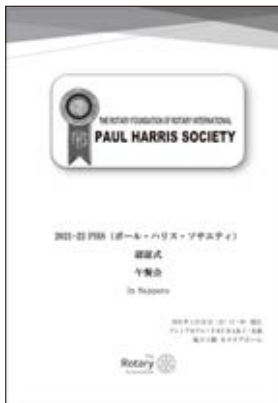
第1地域 RRFC便り 5月号

「PHS 認証式」札幌市にて盛大に開催される

■2022年4月23日-24日



『認証式当日に配布されたプログラム』



VTT 委員会の有志が実行委員となり組織された「PHS 認証式実行委員会」が早くから現地で準備を開始し、お迎え準備が整いました。開会時間前にご遠方からのご来賓も到着され、着席の案内を待つばかりでありました。些か緊張で喉が渇き、早くビールを飲みたい！ご来賓の入場とアナウンス、そして



■ PHS 認証式トピックス

前夜祭の準備と盛会

2022年4月23日(土)札幌ビール園開拓使館

札幌市の天気は朝から晴天で、桜の開花が札幌気象台から発表されました。会場の準備には余念がなく、福井敬悟直前ガバナーを実行委員長に、出村知佳子ガバナーノミニー・デジグネートと中田隆博札幌ロータリークラブ会長が同実行副委員長に就任、地区の財団委員会と国際奉仕・

そして愈々全員着席を待って第2510地区大日向ガバナーから歓迎の挨拶に始まり、ご来賓・辰野克彦国際ロータリー理事からのご挨拶と乾杯の発声で「前夜祭」は賑やかに開会となりました。無論、辰野国際ロータリー理事は、日本で一番お忙しく活躍され、重責を担わているとても大切な方であります。

そして私は三年越しの思いと緊張の中、前夜祭の晴れやかなスタートに胸をなでおろしました。



全員がビールで喉を潤したところで、もうお一人のご来賓・佐藤芳郎国際ロータリー理事エレクトからご挨拶を頂戴しました。佐藤様は翌日は地区研修・協議会があり、この「前夜祭」の為だけにわざわざお越し頂いた訳です。日帰りの強行軍の御参加で感謝に堪えません。



私は会場中に遠近を超えて駆けつけて下さったロータリーの友情を全身に感じて各テーブルを回ってお礼を申し上げていました。会場には出来立てのビールが直ぐに運ばれて来ます。初めの頃は少し遠慮がちのテーブルでも大いに盛り上がっていました。そして、テーブルには良く分からないくらいのジョッキーが空いていき、皆様のお腹の中に収まっていきました。気が付いたら抽選会が行われていました。私が呼ばれたので何か当選したかと思いましたが、大きな勘違いで、抽選箱から券を引くだけのコールでした。その後、誰かが呼ばれる度に会場から大きな歓声が湧き上がっていました。その段階で私は自分が酔っているとは思わないくらい酔っていました。その後閉会の辞の筈でしたが、私が呼ばれました。発起人としてお礼を申し述べなさい！という実行委員会からの厳命でした。

私は認証式の閉会の挨拶担当となっていましたので、ご参加の皆様から歓迎の言葉を申し上げ、もう一人の発起人である第1地域E/MGAの中谷研一パストガバナーから



詳細に亘る経過説明が述べられました。流石に超我の奉仕賞を受賞されるほどのロータリーアンです。感心してお話を聞かせて戴きました。2019年7月の年度が開始される前のことでした。「日本では、大口寄付や冠名基金が難しく、効果的なファンドレイジングはPHS（ポール・ハリス・ソサエティ）に入会される会員を増やすことである。それには認証式を盛大に行うことに秘訣がある」と二人の意見が合意しました。その合意を受けて2020年4月と2021年4月に2年間PHSの認証式を企画していたのですが、ご承知のようにコロナウイルス感染拡大を受けて止む無く中止して臨んだ3年目の本日、100名を超えるご登録を頂き開催できることの喜びで、私たちは顔を見合わせる度に目頭が熱くなり困りました。福井敬悟（PDG）PHS実行委員長の心温まるご挨拶にも涙が溢れ、感動でいっぱいの前夜祭となりました。ご来賓皆様をはじめ、全国から御参加の皆様のご友情に、感謝と御礼を申し上げます。

■ PHS 認証式のハイライト

2022年4月24日(日)晴天

札幌プレミアムホテルTSUBAKI

地下1階カメラホールに於いて、100名近いご登録、参加を頂き、まずは10時45分から隣の写真室で一同集合写真の撮影しました。今回の



RRFC 便り 5月号は「PHS 認証式特集号」としてこの集合写真を載せてあります。中谷E/MGAと私はPHS認証式の歓迎用の旗を二人で持ちました。これも実行委員会の粋な計らいで嬉しい記念写真となりました。皆んな笑顔です。



第1部 オープニング

そして本会場に移り11時オープニングです。司会者は第1地域ARRFCの細川吉博PDGにお願いし、来賓紹介でスタートです。開会挨拶は第1地域E/MGAの中谷研一PDGがPHS認証式の効果と今後の重要性について素晴らしいご挨拶をされました。続いてご来賓のご挨拶です。今回お忙しい中にご出席を賜りました国際ロータリー理事辰野克彦PDGから理事会の近況やこの度のPHS認証式に関する取り組みに過分なお言葉を賜り実行委員会は大感激でした。この日辰野国際ロータリー理事は別の所用があり、ご挨拶後第1部終了後ご退席になり、会場から盛大に感謝の拍手をお見送りさせて戴きました。



また第1部では三木明TRF管理委員からビデオメッセージをお届け頂きまして、会場の大スクリーンでご挨拶を願いました。

これも嬉しいご挨拶でした。三木TRF管理委員は私が地区ガバナー就任前、サンディエゴの国際協議会の研修リーダーで大変お世話になりました。2年前はRI理事として2年間お勤めになりました。その折は神戸でのロータリー研究

会で財団部門のセッションと青少年部門（ローターアクト）のセッションでモデレーターのご指名を戴きました。私のボスですからノーはありません。喜んで努めさせて戴きました。今回もご無理を申し上げてご参加戴きたかったのですが、ビデオメッセージを頂戴して感激いたしました。三木先生本当に有難うございました。続いて第1地域RPICの井原実PDGから、公共イメージの向上に繋がる今回の認証式における、我々チームとしての取り組みに賛辞を賜り、第1部が終了いたしました。



第2部 PHS 認証式(入会式)



引き続き、第2部「PHS 認証式(入会式)」が行われ、第2地域RPICの服部陽子PDG(次期国際ロータリー研修リーダー)からの御祝辞を頂戴いたしました。今日PHSのお仲間になられた方々にお喜びと感謝が述べられました。ご自身も財団には特に強いお気持ちがあると話されて今後のロータリー財団を支えて頂くことへの重要性についてのご挨拶が印象的でした。その後、今回新しくPHS会員になられた方々に認証状が授与され、服部陽子RPICがそのプレゼンターをお勤め下さり、和やかな内に素晴らしい第2部となりました。その後、新会員を代表して各地域からお喜びのご挨拶を頂きました。



3名の挨拶後、第3地域熊本からご参加の2720地区森野修二様からご挨拶を頂きました。2部の終了のご挨拶は、第2地域E/MGA杉岡芳樹PDGから日本のPHSのメンバーは世界的に

少ないお話や、このPHS 認証式を毎年継続的に開催されることが特に大切だと、次年度以降の課題にも触れて、今回の認証式の成果をお話し下さいました。杉岡様誠にありがとうございました。



第3部 PHS 午餐会



続いて第3部PHS午餐会の開会です。司会が細川PDGから第1地域ARRFCの橋岡久太郎PDGにバトンタッチ。細川PDGから「ハイQちゃん宜しく」と同期のガバナー同志で仲の良さがアピールされました。



和やかなうちに午餐会の開会のご挨拶を第1地域EPNCの高柳育行PDGから、PHS 認証式の登録料にはポリオプラスへの3千円の寄付が含まれていることに、関係者としてお礼のご挨拶を頂戴いたしました。

最近アフガニスタンで野生株のポリオが1名確認されたことなど、最新情報の報告も頂きました。そして愈々高柳PDGから乾杯のご発声で宴会のスタートです。



また会場に一際素晴らしい花束が送られてきました。

第3地域RRFCの永田壮一PDGら今回参加の予定でしたが急遽参加できなくなったようです。皆様の友情とお心使いに深く感謝を申し上げます。



司会の橋岡様から各テーブルに用意されたワインについて赤・白ワインとブドウジュースが今回の発起人のお一人で第1地域E/MGA中谷研一様からのご寄贈であり栃木県足利市のワイナリーからであること、また第2地域のEnvironment・MGI野口英一PDGから白ワイン（甲州ワイン）が贈られたことが紹介されました。



会場には美唄が生んだ、バイオニスの杉田知子さんとピアノの矢崎有佳さんの素晴らしい演奏の中で午餐会は進行されました。途中ミニコンサートも披露され格式の高い午餐会となりました。



〈PHS新会員 皆様〉

閉会の辞を私から申し上げます。万感胸に詰まるものがありました。最近あちこちが緩んで来て涙も溢れそうです。と前置きして辰野RI理事、前夜祭に駆けつけて下された佐藤RI理事エレクト、ビデオメッセージでご挨拶を頂いた、三木TRF管理委員長、各地域のコーディネーター・アドバイザーの皆様にお礼を申し上げ、遠近各地区からご参加下された皆様を中心に御礼申し上げます。



今回急遽結成され短時間で周知な準備をされた福井実行委員長・出村実行副委員長・中田実行副委員長をはじめ多くの委員の皆様のお陰で無事に終了できますことにも、謹んで感謝御礼を申し上げます。

最後に、ロータリーは素晴らしい人と人との出会いを結んでくれる組織だと痛感しました。このように素晴らしい、人と人とが繋がるロータリーは、増強もファンド・レージングも自然と達成されるに違いありません。また、ロー

タリーは素晴らしい人間を作る場所だということも再確認できました。皆様に貴重な機会を賜りましたことを最後にもう一度深く御礼申し上げます。(羽部記)

番外編 同期のガバナー皆様達と

夕刻：実行委員会の直会が、私の同期ガバナー・令夫人・実行委員会メンバーを含む30名で開催されました。その様子を御笑覧願います。



寄付推進&補助金



ローターアクターによる補助金参加の新たな機会

ローターアクターは、長年にわたり、地元をはじめとする幅広い地域社会で有意義な奉仕を行ってきました。7月から、ローターアクトクラブは、ロータリー財団の補助金を申請できるようになり、さらに大きな影響を世界にもたらすことができるようになります。ローターアクトと補助金に関するよくある質問をダウンロードし、詳細をご覧ください。

「世界でよいこと」を今後も実現していくために寄付者は、世界でよいことをすることへの熱意

を抱き続けており、ロータリー財団へのご寄付により、ロータリーは重要な活動の数々を実現することができます。2021-22年度、ロータリー財団は既に436口の地区補助金、929口のグローバル補助金、132口の災害救援補助金を提供しています。これらの補助金を通じて、ロータリー会員一人ひとりが、地域社会とともに緊要なニーズに取り組み、解決策を見出しています。今後も素晴らしい活動を実現し続けていくには、財団へのご支援と、行動を起こすことが必要となります。寄付の方法について学び、寄付額を問わず大きなインパクトを生み出すことができることを、あらためて認識しましょう。

6月より大規模プログラム補助金が申請可能に

クラブや地区のプロジェクトが成功を収め、さらに拡大する準備ができている場合は、次回の大規模プログラム補助金への申請をご検討ください。この補助金では毎年、ロータリー会員が経験豊かな協力団体と協力して実施する、成果が実証されている優れたプログラムに200万ドルが授与されます。2022-23年度大規模プログラム補助金の申請書は6月10日まで利用可能となり、クラブと地区は、8月1日までに、プロジェクトの期待される成果、パートナーシップ、目標をまとめたコンセプトノートを提出することとなります。

申請に関する詳細や、国内外のプロジェクトを強化するためのリソースをご利用ください。また、大規模プログラム補助金に関するウェビナー(Programs of Scale: Competition Insights)にもご登録いただけます。このウェビナーは、5月24日(火)の午前8:30と午後4:30に2回開催されます(留意点：上記はシカゴ時間となり、日本時間は14時間進んでいることにご注意ください)。2022年大規模プログラム補助金の受領者は、ロータリー国際大会にて発表されます。

ポール・ハリスの物語

『ロータリーの歴史』

ポール・ハリス：ロータリー創設者

ロータリーは、ポールP.ハリスという一人の男

性のビジョンから始まりました。

ハリス3歳。祖父母の家に移った頃。1868年4月19日に米国ウィスコンシン州ラシーンに生まれたハリスは、3歳の時にバーモント州ウォリングフォードに移り、父方の祖父母に育てられました。バーモント大学とプリンストン大学で学び、1891年にアイオワ大学で法学の学位を取得しました。

1896年にシカゴに移り、法律事務所を開設。その4年後、シカゴ北部で同僚の弁護士ボブ・フランクと夕食をともし、一緒に散歩していたときのこと。界隈に立ち並ぶ店に二人で立ち寄ったとき、ハリスは、フランクが多くの店主たちと親しくしていることに驚きました。シカゴに移り住んで以来、事業人の間にこのような友情を見ることがなかった

ハリスは、ウォリングフォードで過ごした少年時代を思い出し、次のように考えました。

「大都会にいる何百人、いや何千人という他の人たちにも起きたことを体験しているに過ぎないのだ、という思いが消えなかった。…立身出世するために農場や小さい村からシカゴにやって来た若者たちが大勢いるはずだ。…彼らを一堂に集めたらどうだろうか。彼らも自分と同じように友情を求めているとしたら、きっと何かが生まれるに違いない」



(1925ポール・ハリスと
ジーン夫人)

ハリスはやがて、仕事を通じて知り合った数人の仲間を集め、地元の職業人から成るクラブを結成するという構想について話し合いました。1905年2月23日、ハリスとガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレーが、シカゴ中心街にあるローアの事務所に集まり、これが世界初のロータリークラブ例会となりました。

1907年2月、ハリスはシカゴ・ロータリークラブの3代目会長に選ばれました。会長の職を退く少し前、ハリスはロータリーをシカゴ以外にも広げようと試みていました。経済的負担が大きくなることを懸念した数人の会員が拡大に反対しましたが、ハリスの粘り強い努力の結果、1910年、米国のほかの主要都市にもクラブを結成することに成功しました。

その一方でハリスは、理事会のある全米連合会を結成する必要性を感じていました。1910年8月、シカゴで初のロータリー全米大会が開催され、16の既存クラブが一体となって全米ロータリークラブ連合会（現在の「国際ロータリー」の前身）を結成しました。この新しい連合会は、全会一致でハリスを会長に選出しました。

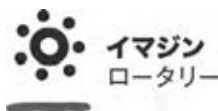
ロータリー会長2期目の終了とともに、健康状態の悪化および仕事と家庭を理由にハリスは会長職を辞任しました。大会の決議によって名誉会長に選ばれたハリスは、亡くなるまで名誉会長であり続けました。

1920年代中頃、ハリスは再びロータリーに積極的に関与するようになり、ロータリーの顔となって精力的に活動しました。会員増強と奉仕活動の推進のため、ハリスはしばしばジーン夫人を伴って大会に出席し、世界中のクラブを訪問しました。長い闘病生活の末、1947年1月27日、ハリスはシカゴにて78歳で永眠しました。亡くなる前にハリスは、葬儀に花を贈る代わりにロータリー財団に寄付をしてほしいと言いました。偶然にもハリスが亡くなる数日前に、ロータリーのリーダーたちは財団での大規模な募金に取り組んでいました。訃報を受け、ロータリーは寄付金を集める方法のひとつとして、ハリスの遺志を反映したポール・ハリス記念基金を設立。亡きロータリー創設者を偲ぶため、多くのロータリアンがこの基金に寄付しました。逝去から18カ月間にロータリー財団に130億ドルの寄付が寄せられ、財団の最初のプログラムである高等教育奨学金に充てられました。

(ポール・ハリス：ロータリー創設者より抜粋)

■ ジョーンズ会長エレクトの 未来ビジョン

『夢を繋ぐジェニファー・ジョーンズ会長エレクトが描く、多様で活気あふれる未来のロータリー』



ロータリーにとって多様性とは？

ロータリー全体で見ると多様性は見られますが、身近な活動の場ではどうでしょう？クラブに多様性がありますか？思考、年齢、文化、ジェンダー、職業に多様性があれば、それが話し合いに表れます。それが、ロータリーの隠し味。他の団体にはできない方法で問題が解決できる秘訣なのです。さまざまな経験が話し合いに生かされて、ロータリーは解決策を見つけます。「多様性は理解していますよ」というクラブは当然あるでしょう。そうかもしれないし、もしかしたらそうではないかもしれない。それでも、今この時点でこのような対話に本腰を入れた団体として、ロータリーは独自の立場にあると思います。ロータリーは政治色も宗教色もなく、お互いを尊重しながら安心して対話の場を提供できるのです。

RI会長の役割をどう定義しますか？

変える、という前提で会長職に就任するわけではありません。今日の文化と情勢の中で、意味を持つ団体としてどうすればいいか、という観点で会長職に臨んでいます。未来のためになるにはどうすればいいか。

ここ何年かでの取り組みを少し変えればいいのかもありません。ある特定の層に訴えかける取

り組み、という意味ですが。もっと当事者に寄り添うべきなのかも。多くの女性に参加を呼び掛けても大して結果が出ないのなら、「彼女にできるなら私にだって」と前向きになれるようなインスピレーションを与えるべきなのかもしれません。若い世代、若い思想家を迎え入れたいのなら、そういう行動を取る必要があります。彼らにとって大事なことを示して、自発的に取り組めるような団体にならないといけません。私が何より貢献したいと考えているのは、ジェンダーではなくてコミュニケーションの分野です。現代において、人と違うのはいいことであって、それを受け入れることでロータリーが変わってしまうわけではない、ということ会員たちやその他ロータリーファミリーの人たちに伝えていきたいのです。ロータリーのDNAは変わりません。ロータリーの中核的価値観は変わりません。はやり廃りがあるようなものではないのです。それでも今、物事の見方を少し変えることはできますよね。

若い会員だけでなく、若い思想家とは？どう違うのでしょうか？

考え方が大人の25歳の人に出会ったことはありますか？誰でもありますよね。一方で、若々しい発想を持った86歳の人に出会ったことは？もちろんあることでしょう。若い思想家とは、そうした人たちを指しています。

「世界を変える行動人」として活動することは、私たちの生きる喜びです。ロータリアンは活動的です。行動を起こします。私が若い思想家と考えるのは、そういう人たちのことです。私たちは、世界中と地域社会の中で行動を起こしています。ロータリーには、私が相互メンターシップと呼んでいる仕組みを活用する素晴らしい機会があります。

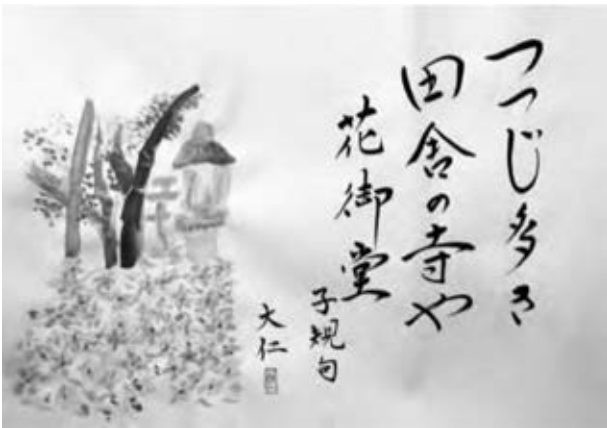
経験のレンズを通して名案が得られることもあれば、経験が浅い人から名案が出されることだってあります。ロータリーに若い会員が参加すれば、新鮮な視点が得られて、常に進化し続けられるという希望が生まれます。

分かりやすく言うと、良いアイデアを思い付いてローターアクトクラブに提案すれば、数日のうちにそのアイデアの実行への道すじがつかめます。ソーシャルメディア上での活動を始める、

呼び掛けてパートナーを見つけるなどいろいろな方法で行動を起こします。非常に迅速なのです。一方、同じアイデアをロータリークラブに提案したらどうなるでしょう？委員会を設置して、話し合いです。何度も、何度も話し合い。慎重なやり方が悪いというわけではないんですよ。今のは、冗談の部分も大きいのですが。でも、形式的なやり方だと物事が前に進まなくてイライラさせられることもあります。若い世代に目を向けることで、新しい機会が生まれるのです。方法が違いますから。若い人たちから本当に学ぶべきことだと思います。

(『Rotary』誌2022年3月号より)

■東本願寺のつつじと子規の句



〈浅草東本願寺ご本堂脇に咲くつつじ子規の句〉

6月号で最終になる第1地域RRFC便りです。3年近く描き続けた下手な絵と多く登場したのが正岡子規の句でした。最終回には最後に紹介しようと心に決めているものがあります。ですから子規の句は、これが最後になります。僅か34歳の生涯に多くの句を残して逝った天才句人でした。最近浅草に住まいをしておりますと隣の根岸には終焉を迎えた家があります。台東区根岸2丁目5-11が「子規庵」として戦後再建されて残されています。

句碑で思い出すのは上野恩賜公園にあるボールの形をした句碑は有名です。子規はベースボールを日本に広めた先人とも言わ



れています。きっと若き頃夏目漱石と一緒に野球に興じて大きな声を出していたように、以前この句碑を見に行った時にそんな声が聞こえてきたように感じました。春風に吹かれてそこには「春風やまりを投げたき草の原」この公園で子規は明治19年頃から23年にかけて野球を楽しんでいたようです。

ベースボールを「弄球」と訳したほか「打者」「走者」「直球」などの訳語は現在も使われているのですから物凄い人です。それらの功績から平成14年に野球殿堂入りを果たしています。何故そんなに子規のことが好きかと聞かれると、夏目漱石や秋山真之のような美男子でなく、どこか憎めない人間性が私はとても好きです。脊髄カリエスでその凄絶な闘病生活は、随筆「病牀六尺」(明治35)などに詳しく書かれています。左足が曲がったままでしたので、机の左の一部をくり抜いて使用したと言われています。

今回紹介した句は、「つつじ多き田舎の寺や花御堂」です。浅草の本願寺には沢山躑躅(つつじ)が綺麗な花を咲かせています。浅草は田舎の寺ではありませんが、花御堂はお釈迦様の誕生仏にお花まつりに甘茶をかけてお祝いする習慣があります。その花御堂の周りに花を飾って荘厳するのですが、このお堂を多くの躑躅が飾っているそんな様子を詠んだのだと思います。子規の句を多く紹介しました。そこには仏様に纏わる句の多いことを感じていました。やがてこの病と共に自らも人生を終えて行かねばならないことをいつも傍に生きたと思います。子規の家には大きな曼陀羅が掛けられていたようです。曼荼羅は仏様の世界であり、大宇宙です。大日如来を中心に、胎蔵界曼陀羅と金剛界曼陀羅に表現されています。密教の教えと共に日本にも伝来しました。胎蔵界曼陀羅は母親のお腹の中で愛しまれている姿を慈悲の世界とし、金剛界曼陀羅は知恵の働きで幸せな人生を感じて行くことができる世界を表現しているのです。慈悲と智慧を説くのが宗教であり、仏教だと考えます。子規の部屋の曼陀羅は胎蔵界曼陀羅でした。そして日本文学に大きな影響を与えた天才句人は僅か34年の人生を仏様の世界に帰って往かれたのです。(羽部記)

地区カレンダー 6月

6月

ロータリー親睦活動月間

1 水		15 水	
2 木		16 木	インターアクト年次大会(~17日)(定山溪)
3 金		17 金	
4 土	国際大会(~8日) アメリカ・ヒューストン	18 土	国際奉仕人道支援事業報会(札幌)
	学友総会・財団奨学生壮行会(札幌)	19 日	現新地区委員・ガバナー補佐合同 引継ぎ会議(札幌)
5 日		20 月	
6 月		21 火	
7 火		22 水	
8 水		23 木	
9 木		24 金	
10 金		25 土	第49回ローターアクト地区大会(千歳)
11 土	函館亀田RC50周年記念式典:中止	26 日	
	第7グループIM(北広島)	27 月	
12 日		28 火	
13 月		29 水	
14 火		30 木	2021-22年度終了

2022年6月のロータリーレートは地区HPをご覧ください。

会員数・例会回数報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			'2021.7.1	'2022.4.30	増減	内女性
1	深 川	3	32	33	1	2
	羽 幌	3	36	34	-2	1
	留 萌	3	25	25	0	4
	小 計		93	92	-1	7
2	赤 平	3	20	20	0	2
	芦 別	2	28	27	-1	2
	砂 川	4	39	38	-1	1
	滝 川	2	84	87	3	5
	小 計		171	172	1	10
3	美 唄	4	22	20	-2	0
	江 別	4	36	37	1	1
	江 別 西	4	35	34	-1	3
	岩 見 沢	2	91	90	-1	1
	岩 見 沢 東	3	17	14	-3	2
	栗 沢	2	18	17	-1	1
	栗 山	3	25	24	-1	4
	当 別	2	26	24	-2	0
	小 計		270	260	-10	12
4	札 幌	3	121	123	2	2
	札幌はまなす	3	17	17	0	2
	札 幌 北	3	38	38	0	4
	札幌モーニング	3	36	37	1	0
	札 幌 西	4	50	48	-2	9
	札 幌 西 北	2	30	34	4	3
	札 幌 手 稲	4	34	32	-2	3
	小 計		326	329	3	23
5	札 幌 東	3	113	107	-6	0
	札 幌 清 田	3	11	11	0	3
	札 幌 幌 南	4	59	59	0	3
	札幌真駒内	3	20	19	-1	5
	札 幌 南	3	76	78	2	3
	札幌大通公園	2	12	12	0	3
	札幌ライラック	2	14	13	-1	4
	新 札 幌	3	24	25	1	5
小 計		329	324	-5	26	
6	岩 内	3	26	27	1	1
	倶 知 安	2	33	33	0	4
	小 樽	4	72	73	1	3
	小 樽 南	4	60	58	-2	3
	小 樽 銭 函	2	15	15	0	1
	蘭 越	4	8	8	0	0
	余 市	2	37	36	-1	3
	小 計		251	250	-1	15

4月会員増減数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,418人
当月末会員数（女性）	2,408人(171人)
増加会員数	-10人

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			
			'2021.7.1	'2022.4.30	増減	内女性
7	千 歳	3	74	73	-1	10
	千歳セントラル	3	42	44	2	10
	恵 庭	3	45	45	0	3
	北 広 島	3	15	16	1	0
	長 沼	3	16	16	0	3
	由 仁	2	8	8	0	1
	小 計		200	202	2	27
8	え り も	2	17	17	0	1
	三 石	3	11	11	0	0
	様 似	2	14	14	0	1
	静 内	3	64	64	0	4
	浦 河	3	20	20	0	2
	小 計		126	126	0	8
	9	伊 達	4	61	60	-1
室 蘭		3	30	30	0	2
室 蘭 東		3	31	31	0	2
室 蘭 北		3	52	53	1	2
登 別		4	26	26	0	1
洞 爺 湖		2	11	11	0	1
小 計			211	211	0	10
10		函 館	4	57	64	7
	函 館 亀 田	4	33	33	0	4
	森	0	33	33	0	0
	七 飯	4	15	15	0	0
	長 万 部	2	10	10	0	0
	函館セントラル	4	23	22	-1	2
	小 計		171	177	6	8
11	江 差	2	9	10	1	1
	函館五稜郭	4	47	47	0	0
	函 館 東	3	36	37	1	8
	函 館 北	3	17	13	-4	1
	北 斗	4	12	11	-1	0
	小 計		121	118	-3	10
12	白 老	3	30	28	-2	3
	苫 小 牧	4	59	59	0	2
	苫小牧東	4	32	32	0	7
	苫小牧北	3	28	28	0	3
	小 計		149	147	-2	15
	合 計		2,418	2,408	-10	171

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数14名（内女性会員0名）を含む

表紙の解説

◆北の大地と生きる◆

伊達家というと、「独眼竜」として知られる伊達政宗を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。政宗は、仙台藩六十二万石を開いた初代の藩主です。そして、北海道に渡ってきた伊達邦成は、仙台藩の重心であった巨理伊達家の十五代当主でした。そのような巨理伊達家の人々が、どうして北海道に向かうことになったのでしょうか。薩摩藩や長州藩などを中心に幕府を倒そうという機運が高まっていた慶応三（一八六七）年。十五大將軍の徳川慶喜は、突然、朝廷に政権を返上すると発表し江戸幕府は終わりをむかえました。大政奉還です。明治元（一八六八）年一月、旧幕府軍の主力と薩摩藩・長州藩を中心とする新政府軍が、鳥羽と伏見で衝突し戦いの火ぶたが切られました。巨理伊達家の運命を大きく揺るがす、戊辰戦争の始まりです。仙台藩にも、旧幕府軍に味方する会津藩を攻めるようにという、新政府の命に従わなかつたことから、仙台藩の領地は、六十二万石から二十八万石にまでけずられてしまいました。巨理伊達家の石高は二万四千石ほどありましたが、わずか五十八石（米百三十俵の支給）とされてしまったのです。巨理伊達家には、家来とその家族を合わせて七千八百五十四人がいます。そんなある日のこと。伊達邦成のもとに、家老の常磐頭允がやってきました。「殿、聞くとところによれば、新政府は蝦夷地を開こうと計画しているとのこと、われらも家来を率いて自費で蝦夷地に赴き、北方の警備をしながら新たな土地を切り開くことにより、家来たちを養ってはいかがでしょう」その手があったかとばかりに、邦成の目は大きく開きます。



